



内容目次

- ・糖尿病教室開催のお知らせ
- ・股関節疾患について
- ・インフォメーション
- ・外来診療表



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター
広報編集委員会
<http://www.sanmu-mc.jp/>

糖尿病教室開催のお知らせ

☆初めて糖尿病と診断され、不安に思っている方。

☆糖尿病のご家族をお持ちの方

☆糖尿病について勉強したい方

...etc どなたでも自由に参加いただけます。

日時 平成27年3月7日(土)

9時(受付8時30分)～12時30分

場所 さんむ医療センター

南棟6階会議室

内容 当院医師、検査技師、理学療法士、管理栄養士、
薬剤師、看護師による各30分程度の話。

主催：さんむ医療センター

生活習慣病対策委員会

お問い合わせ先：

地域医療連携室

股関節疾患について

股関節は体を支え、安定した歩行を行うためにとても大事な関節です。整形外科の外来には股関節の痛みを訴える患者が非常に多く来院されます。

股関節痛をひきおこす病気には、主に変形性股関節症、大腿骨頭壊死症、急速破壊型股関節症、関節リウマチなどがあります。その中でも頻度の多い変形性股関節症について解説したいと思います。

変形性股関節症は、関節を滑らかに動かすために骨の表面を覆ってクッションの働きをしている「関節軟骨」が、何らかの理由によりすり減ってしまうために起こります。日本では、股関節の形態がやや不完全である、先天性臼蓋形成不全などのある人が後年変形性股関節症を発症することが多いようです。先天性臼蓋形成不全は女性に多いので、女性の方に発症することが多いと考えられています。

変形性股関節症の治療にはいくつかの方法があります。まずは、体重コントロール、運動療法・温熱療法などの理学療法、薬物療法などの保存療法を試みます。それらの方法で症状が改善しないときには手術を勧めています。手術療法としては人工股関節置換術が一般的です。人工股関節置換術では、すり減ってしまった関節軟骨をインプラント(人工物)に交換してしまうため痛みを取り除く効果に優れています。最近では科学の進歩により優れたインプラントが開発されてきております。また技術の改善により、体にかかる負担をなるべく軽減した手術が可能となってきました。

保存療法をやったけれど症状が改善なく手術を検討している方、もう少し他の保存療法を試してみたい方、痛みの原因がわからない方など、股関節痛でお困りの方がいらっしゃいましたら一度、ご相談ください。

インフォメーション

1. 内科外来よりお知らせ

平成27年2月より火曜日午後に王子医師による和漢診療を開始いたします。

2. 休診について（1/27 現在）

2月 5日（木）	内 科	木村医師休診
2月 5日（木）	神経内科	伊藤彰一医師休診
2月 5日（木）	小 児 科	寺井医師休診
2月 9日（月）	内 科	石川医師休診
2月 12日（木）	内 科	坂本医師休診
2月 13日（金）	脳 外 科	休診
2月 13日（金）	内 科	掛村医師休診
2月 19日（木）	内 科	木村医師休診
2月 20日（金）	内 科	木村医師休診
3月 4日（水）	整形外科	重村医師休診
3月 4日（水）	内 科	木村医師休診

（変更する場合があります。休診等の情報は、北棟1階の掲示板をご覧ください。）

お問い合わせ先

地方独立行政法人

さんむ医療センター 地域医療連携室

住所：〒289-1326 千葉県山武市成東 167 番地

TEL：0475（82）2521 FAX：0475（82）3354

